

令和3年度 田園自然再生活動の集い 開催要領

日 時：令和3年12月14日（火） 13:30～16:30

開催方法：WEB 開催

主 催 者：田園自然再生活動協議会・（一社）地域環境資源センター

後 援：農林水産省、環境省、全国農村振興技術連盟、（公社）農業農村工学会、
農村計画学会、（一財）日本グラウンドワーク協会

対 象：自然と共生する農村づくり「田園自然再生活動」に関心のある個人・団体
（農業者、行政、自然再生活動団体、環境保全活動NPO、教育関係者、学生など
広く一般）

参 加 費：無料

定 員：300名

テ ー マ：自然災害と田園自然再生

趣 旨：

R3年3月に10年目を迎えた東日本大震災をはじめ、近年全国各地で地震や水害等の自然災害が頻発し、人的被害とともに地域の産業や暮らしに甚大な被害をもたらしてきた。農村部では、農地等の生産基盤や民家等の生活基盤のみならず、地域の農業や暮らしの中で古より形作られ継承されてきた豊かな生態系や景観などの田園自然環境が失われてしまった。

災害発生後、生活基盤及び生産基盤の復興が優先され、自然環境の復興は後回しになってしまいがちであるが、一方で、災害復興とともに、かつての豊かな田園自然環境を再生し、震災後の地域づくりの起爆剤にしようとする取組も各地で見られ始めている。

こうした田園自然再生の取組は、かつての豊かな環境を取り戻すだけでなく、取組を通じて集落内や地域外の様々な人々との絆を深めたり、災害により地域を離れた住民が戻ってくるきっかけとなるなど、新たな地域のつながりやコミュニティの形成につながっていくことも期待される。また、こうした取組が災害に備えるための防災としての役割を担っている。

そこで、今年度の「集い」では、大規模な自然災害からの復興における田園自然再生の取組みをテーマとして、様々な困難に立ち向かうための地域のつながり、まとまりや地域力を高めるための田園自然再生活動のあり方を考えてみたい。

プログラム案：

- （１）開会挨拶：中村桂子（田園自然再生活動協議会 会長）
- （２）来賓挨拶：農林水産省、環境省
- （３）基調講演：一ノ瀬友博（慶応義塾大学環境情報学部 教授、農村計画学会 会長）
- （４）パネルディスカッション
 - ・コーディネーター：莊林幹太郎（学習院女子大学 副学長）
 - ・コメンテーター：中村桂子（田園自然再生活動協議会 会長）
一ノ瀬友博（慶応義塾大学 教授）
田中忠次（地域環境資源センター 理事長）

・ パネラー：①遠藤源一郎（東日本大震災で仙台市若葉区の新浜町で被災、元仙台市役所職員、新浜町内会庶務兼まちづくり担当、貞山運河倶楽部の副代表として、震災後の沿岸部の自然再生に取り組んでいる。現在遠藤環境農園で米の有機栽培、新規就農者の育成等に尽力）

②大津愛梨（NPO 法人田舎のヒロインズ理事長、里山エナジー株式会社代表取締役等多数の肩書を所有、H21 年度の農水省の食料・農業・農村審議会の委員、農業女子プロジェクトのメンバーでもあり、阿蘇地域の GIAHS 認定にも尽力）

③谷 正昭（淡路東浦ため池・里海交流保全協議会 会長、河内営農組合長、ため池の機能保全を行う「かいぼり」の普及をはじめ、ため池の大切さを伝えるイベントやため池教室の開催を通じ、地元から淡路島全域、さらに県内へため池保全活動の推進に貢献。）

（５）参加者アンケート

※参加者から、上記のテーマに沿った参加者の取組紹介や意見等を事前に募集し、その中からいくつかの取組や意見等をパネルディスカッションで紹介します。

問合せ窓口：

（一社）地域環境資源センター 田園自然再生活動事務局

住 所：〒105-0004 東京都港区新橋 5－3 4－4 農業土木会館 6 階

電話番号：03-5425-2461 ／ FAX番号：03-3432-0743

メールアドレス：denen-saisei@jarus.or.jp

URL：<http://www.jarus.or.jp/>